

OnAir 3000 ユーザーレポート

RKB毎日放送株式会社 様

OnAir 3000-18



DスタジオをOnAir 3000で更新



RKB毎日放送株式会社
ラジオ局 編成業務部
市蘭 貴宏

Dスタジオ

1996年の社屋移転から早20年、長らく親しんできたラジオDスタジオを更新しました。Dスタジオはデイリーの録音番組での稼働率が高く、また音声編集機器があり、ドラマ、ドキュメンタリー、音楽番組を収録・編集できるスタジオです。40フェーダーのアナログミキサーを使用していましたが、近年音楽番組なども減ってきたので、なるべく通常番組で使用するサイズに合わせてコンパクトにし、なおかつ入力数が多い番組の収録にも対応できるようポータブルミキサーを追加設置する、という方針で更新を検討しました。

使いやすく見た目よく

技術以外の制作担当者がミキサー卓を操作する現状を踏まえ、操作が容易であること、コスト面、多くの導入実績と評判も考慮した結果、STUDERのOnAir 3000を選定しました。今回は18フェーダーに抑え、周辺機器も全て手の届く範囲で行えるよう配置も考えました。

STUDER様との打合せでは、操作を迷わないようなボタン制御、使いやすい音声の入出力システムを検討するとともに、ゲストが「またこのスタジオに来たいな」と思うような見た目も重要視し、スタジオ・サブのデザイン検討にも多くの時間を割きました。お気に入りには、アイコンック製の亚克力板LEDのMIC ON表示灯。マイクの形をしたランプが光り、見栄えがします。

居心地がよいスタジオ

運用初日に、アナウンサー、ディレクター、ミキサーともに音質が抜群に良くなったと評価頂きました。操作に困る人もなく、大変スムーズに新システムに移行できました。EQ・COMPの操作も一目で分かりやすく、シンプルですが自由自在に音作りしやすいです。EFFECTORが気持ちよくかかるという意見もありました。編集作業していて居心地がよいので、つい長居してしまうスタッフもいるくらいです。私は連続ドラマの完パケ音声を検聴するのですが、このサブでしか行いたくない程はまってしまいました。メインスピーカーは、他のサブと同じPSI AUDIO製A21-Mを採用したのですが、明らかに他のサブと違って、ミキシングされた音声をそのまま素直

に再現していると感じます。ドラマはステレオにて制作されているのですが、リスニングポイントで聞くと、奥行きがきちんとわかり、会話の飛び交う様子や走り抜けていく音など、臨場感をすごく感じ取れます。音楽レコーディングや長尺ドラマの収録もありましたが、高品質な作品が制作できていると思います。また、スナップショット機能はとても簡単な操作で、各番組、シチュエーションで設定保存でき、スタジオに入ってリコールするだけですぐに収録を開始できるのも、細かいポイントではありますが役に立っている点です。

今回の更新に当たり、限られた予算の中で良い環境を作って頂いたスチューダー・ジャパンブロードキャスト及び関係各社の皆様に改めて御礼申し上げます。

